



中野 寛之 議員
(一問一答方式)

- ① 市長の政治姿勢
- ② 名誉市民の選定
- ③ 子育て支援課の新設
- ④ 市内公共交通機関
- ⑤ えひめFree WiFi
- ⑥ 児童発達支援事業

名誉市民の選定について

問 ノーベル物理学賞を受賞された中村修二氏の記念講演会について、郷里の後輩、児童・生徒に一人でも多く聞かせるため講演会を録画するなど対策を講じていただきたいが、理事者の方針を伺いたい。

答 大洲市民会館において名誉市民の称号贈呈式を行い、あわせて記念講演を行う予定で準備を進めています。会場の収容人数は限られているため、市内の高校生などに限定させていただくこととなりますが、講演を聴講できない市民の皆様、特に小・中学生などへの聴講機会の提供については、映像として撮影したいと考えてい

ます。しかし、中村氏の了解も必要なことから、今後話を進めていく中で検討したいと考えています。また、記録映像のほかにも市広報やホームページを利用して、その講演内容やその御功績を広くお知らせしていきたいと考えています。

えひめFreeWiFiについて

問 愛媛県では、観光客等が無料で利用できる公衆無線LAN無料WiFiの整備を推進しており、市町に対し、えひめ国体、全国障害者スポーツ大会の全会場及び観光地等への整備促進について協力を要請している。今後、大洲市としてはどのように取り組まれるのか。

答 現在、えひめFreeWiFiプロジェクトが進められており、サービス提供箇所は順調に増加している状況です。

当市では、県が9月に実施した設置希望施設の調査において、避難所となる公共施設に加え、道の駅など118カ所のリストを提出しており、条件の整った施設等から順次整備される予定となっています。

今後は、プロジェクトの参加事業者への働きかけなどを行うとともに、観光客など多くの利用者がある施設の洗い出しを行い、市としての整備計画も作成し、早期の実施を推進したいと考えています。



桒田 和美 議員
(一問一答方式)

- ① 地方創生
- ② 地域防災力の向上
- ③ 林業の活性化

地方創生について

答 地域おこし協力隊制度は、2009年にスタートし、全国で任務を終えた協力隊員のうち8割が若者で、半数が任務地に定住するなどの効果も出てしていると聞いている。その後の定住に結びつけていく努力が必要であると感じているが、今後どういった取り組みを行うのか。

問 当市では、本年4月より2名の隊員が都市部から長浜地域へ住所を移し、情報発信や地域のイベントなどへの出席、青島での生活支援や特産品開発などの活動を行っている状況です。

平成28年度は農業関係の地域協力活動についての募集を検討しており、受け入れ先となる地元との協議を進めていきたいと考えています。また、地域おこし協力隊員

が協力活動を終了した後の定住に向けての支援体制を整えるなど、活動が円滑に進むようにサポートしていくことが大切だろうと考えております。

林業の活性化について

問 国は、木材自給率向上のため、CLT(直行修整材)というパネルの普及を加速させるとしており、愛媛県においても愛媛県CLT普及協議会が設立されたようである。

面積の7割が森林である当市において、1次産業の活性化、荒廃する里山の再生にもつながると考えるが、今後どのように取り組まれるのか。

答 CLTが一般的な建築材料として利用するためには建築基準法等の関係法令の整備が必要であり、設計基準などが整備されるのは早くても平成28年度以降になる見込みです。

当市では、現在大洲市産材を使用した新築木造住宅に対する補助制度を行っており、今後CLTが普及すれば、さらに大洲市産材の需要が拡大されるものと期待しており、愛媛県などの動向を注視しながら、大洲市産材を活用したCLTの製品化の可能性や普及啓発に取り組んでいきたいと考えています。